


熱傷(やけど)



熱傷深度	I度	浅達性II度	深達性II度	III度
障害組織	表皮 (角質層)	表皮 (有棘層・基底層)	真皮 (乳頭層・乳頭下層) 毛細血管・知覚神経末端	真皮全層 皮下組織
外見	紅潮 (赤くなっただけ)	水泡(水ぶくれ)形成		壊死 (真っ白・茶色・黒こげ)
症状	疼痛 熱感	強い疼痛 灼熱感 知覚鈍麻	痛覚がない	
治癒期間	数日	約10日間	3週間	自然治癒しない 瘢痕拘縮

熱傷の応急処置

1. 冷却：すぐに水道の流水(常温 10~15℃)

- むくみと深さ進行予防：3~5分
保冷剤を直接当てるのは避ける
(火傷の皮膚を損傷し深くする)



- 疼痛軽減：5分~30分
(冷やしすぎは皮膚がブヨブヨになる)

➢ 広範囲*やけどは10分以内にして体温低下を防ぐ

シャワーやホースで水をかけ 119 番通報
*広範囲とは成人は両腕以上(体表の20%以上)、
子供と高齢者は成人の半分以上



➢ 衣類の下のやけどの場合、着たまま冷却

2. 保護：きれいなガーゼやタオルで覆う

- 水ぶくれはつぶさない
水泡(水ぶくれ)はやけどの傷口を保護する役割があり、
潰すと治りを妨げる



➢ 水ぶくれが破れていたらラップ療法

- ① 常温水膨れ水で冷却 5分
- ② ワセリンをラップに薄く塗る
- ③ ②で水ぶくれのある皮膚を覆う(真皮を守る)
- ④ ラップの上からガーゼで保護する



注意：避けたいもの

アロエ・軟膏・創傷被覆材(ドレッシング剤)・冷却シート



密封で感染リスクがある

ためらわずに119番

- 広範囲のやけど・水ぶくれ(脱水のリスク)
- 第III度は皮膚の保護作用がなくなり、
感染リスクがあるので小範囲でも病院
黒こげや白くなっている、痛覚がない
- 意識がもうろうとするなど全身症状がある
- 顔や気道の熱傷(気道がむくみ窒息のリスク)
- 煙を吸った(咽から肺が傷ついている可能性がある)



健康支援センター
健康増進室
内線：5200
9~16時(金15時)

医務室
内線：5117
10~17時(金16時)

約28日

約5~6年

